

例4 [テーマ] 人間の責任 / [手法] 心を打つことば

参照箇所: 『ラウダート・シ』 2~9、65~66、101、115~121
『見よ、それはきわめてよかった』 54~59

宗教、文化、時代を超え、この世界には心に触れることばがたくさんあります。そのようなことばを用いてふりかえてみましょう。



*様々なことばを「ラウダート・シ」デスクのウェブサイトで紹介しています。

神の創造のみわざにあずかり、協力するため、わたしたちは何を託されているのでしょうか。キリストに従うものとして、どのような状態に留まるよう呼ばれているのでしょうか。どのように歩むよう招かれているのでしょうか。

ふりかえりの材料 (例)

ティク・ナット・ハン(ベトナムの禅僧)

「人生でいちばん大切なことは安らぎや喜びという宝を見つけ、それを他の人びとや生き物と分かち合うことです。そしてそれを得るためには一步一步の中に平和を見いださなければなりません。つまり、いちばん大切なのはあなたの歩きかたなのです」。



個人のふりかえり

ステップ1

- 祈りの雰囲気を保てる場所を選び、沈黙をもって準備しよう。
- 「ふりかえりの材料(例)」を味わいましょう。どんな言葉・表現が心に触れましたか。それはなぜでしょうか。

ステップ2

- 以下の質問を参考に自分の歩みをふりかえてみましょう。
あなたに託されていて、次の世代につなぎたい「宝」は何でしょうか。
「宝」を「他の人々や生き物と分かち合う」とはどのようなことでしょうか。
今のあなたの「歩き方」の状態はどのような感じでしょうか。

➔ 個人のふりかえりのみ行う場合、最後に心から湧いてくる祈りをささげましょう。

分かち合い

ステップ3

- 次のような質問を参考に、ステップ1とステップ2でふりかえったことを分かち合いましょう。
神の創造のみわざに協力するため、わたしたちは何を託されているのでしょうか。
ステップ1とステップ2で味わったことは、あなたの歩みをどのように照らし、導きますか。

ステップ4

- 他の人が分かち合ってくれたこと、自分がふりかえったことを沈黙のうちに味わいます。
これから進めるあなたの歩みの「初めの一步」は何でしょう。
その一步が踏み出せる恵みを主に願いましょう。
- 最後にもう一度沈黙の時間をもった後、祈りをささげましょう。